

- 施策の目標
- 本年度の事業内容
- 今後の検討課題

① 穴道湖・中海の水質保全の目標

- 平成21年度に策定した第5期穴道湖・中海湖沼水質保全計画に基づく各種施策の円滑な推進による水質保全目標の達成
- 穴道湖・中海に係る汚濁メカニズム解明に向けた調査事業の実施

② 穴道湖・中海の賢明な利用の目標

- ラムサール条約登録後4年間で鳥取県との連携やNPO等住民との協働が進むなど順調にスタート
- 今後も、関係機関と連携・協働した取組み必須
- 第5期穴道湖・中海湖沼水質保全計画には、およそ25年後の湖沼の将来像を設定

この将来像の実現に向け、水産資源など穴道湖・中海の「恵み」を持続的に賢く活用する取組みを一層推進

水質保全目標

【宍道湖：第5期計画に達成すべき水質目標】

水質項目		現状 (平成20年度)	前計画期間変動 (平成16~20)	目標値* (平成25年度)
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	75%値	6.1	4.8~6.2	4.6
	年平均値(参考)	5.4	4.3~5.4	4.0
全窒素(mg/l)	年平均値	0.49	0.49~0.56	0.49
全りん(mg/l)	年平均値	0.056	0.045~0.056	0.039



【中海：第5期計画に達成すべき水質目標】

水質項目		現状 (平成20年度)	前計画期間変動 (平成16~20)	目標値* (平成25年度)
化学的酸素要求量 (COD) (mg/l)	75%値	6.0	5.3~7.3	5.1
	年平均値(参考)	4.4	4.1~4.8	3.9
全窒素(mg/l)	年平均値	0.47	0.47~0.62	0.46
全りん(mg/l)	年平均値	0.060	0.054~0.072	0.046



*過去5年間の気象条件を基に施策の効果を踏まえシミュレーションを実施して設定

湖沼の将来像（長期ビジョン）

【長期ビジョン】 「みんなで守り、はぐくむ生命、豊かできれいな**宍道湖**」

宍道湖における長期ビジョン（望ましい湖沼の将来像）に「みんなで守り、はぐくむ生命、豊かできれいな宍道湖」を掲げ、豊かな生態系をはぐくみ、人々が親しみ・安らげる水環境を実現し、湖を訪れるすべての人が快適であると肌で感じられる環境を目指します。この環境を関係機関・住民で守り、次世代を担う子供たちへと受け継いでいくことを目標とし、およそ25年後（平成45年度）においてこの将来像を実現することとします。

「みんなで守り、はぐくむ生命、豊かできれいな宍道湖」

○人々に恵みや潤いをもたらす豊かな汽水域生態系

- ・シジミを始め、「宍道湖七珍」と呼ばれる豊かな魚介類が生息する
- ・ヨシが茂り、ヨシ原の中で魚介類に命が育まれる湖岸域

○人々の暮らしにやすらぎを与える美しい水辺空間

- ・早朝、朝もやに浮かぶしじみ船
- ・魚釣りや水遊びなど人々が水辺に集い、水とふれあう

○人々の間で語り、受け継いでいく湖

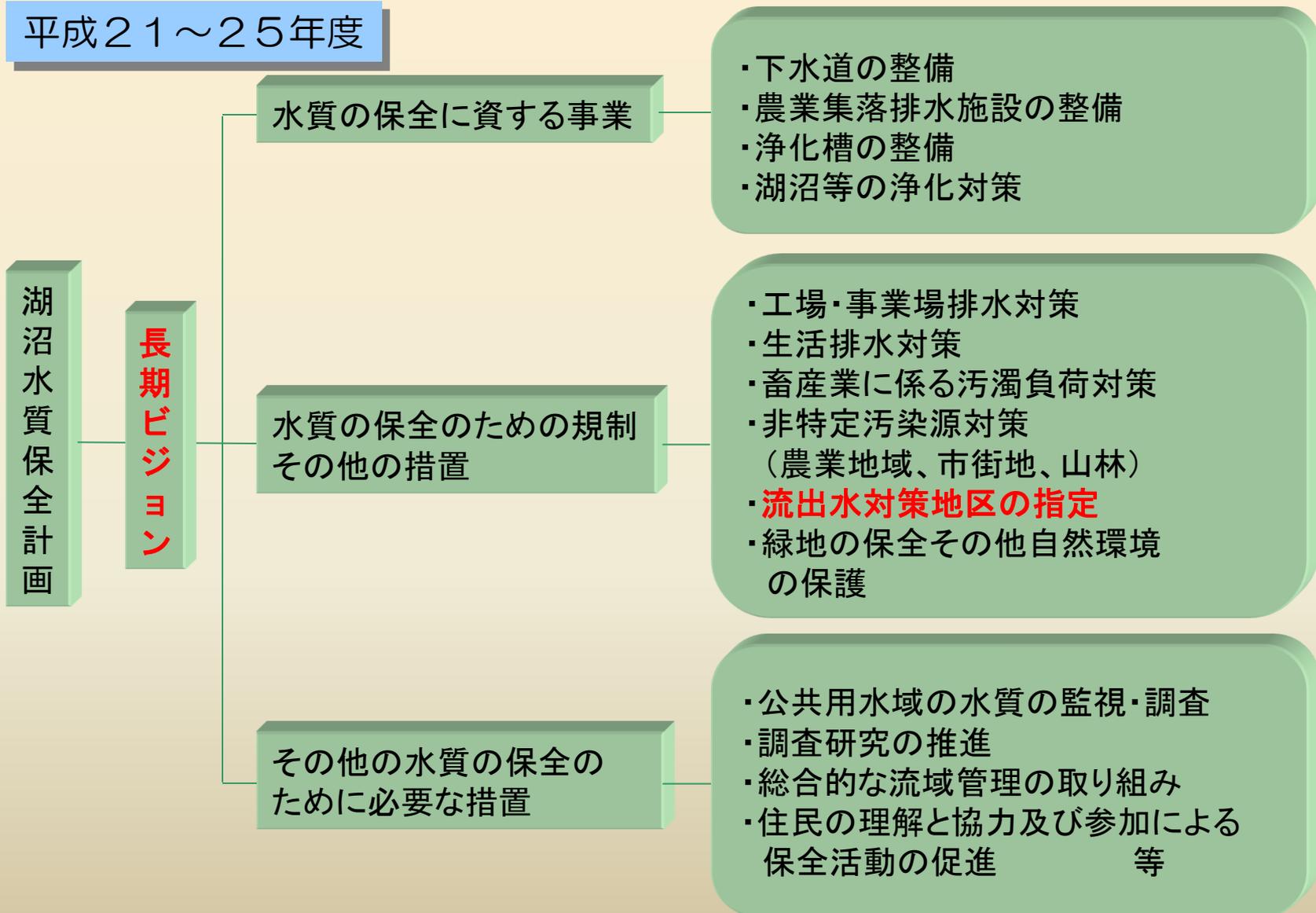
- ・親から子へ、子から孫へ、宍道湖の自然・歴史を学び、伝えていく

中海（鳥取・島根共同で策定）についても同趣旨のビジョンを設定

【長期ビジョン】 「みんなで守り、はぐくむ、豊かな**中海**」

第5期湖沼水質保全計画の体系

平成21～25年度



平成22年度の具体的な事業内容

1 穴道湖・中海水質保全計画 策定・進行管理事業

(3,071千円)

- ① 第5期湖沼水質保全計画の周知・広報
- ② 流域汚濁負荷量排出状況調査
- ③ 水質汚濁防止対策協議会等

2 穴道湖・中海湖沼水質保全 調査・研究事業 (7,842千円)

- ① 汚濁負荷量規制基準設定調査
- ② 流出水対策地区水質調査業務
- ③ 湖沼環境モニター調査
- ④ 穴道湖・中海水質調査等研究
- ⑤ **汽水湖における汚濁メカニズム解明
調査事業 (新規)** など

3 湖沼環境保全に関する意識 啓発事業 (2,055千円)

- ① 五感指標普及事業
- ② 「みんなで調べる中海流入河川調査」
事業 (穴道湖については穴道湖水質汚
濁防止対策協議会の事業として実施)
- ③ **穴道湖環境案内人事業 (拡充)**

4 穴道湖・中海の保全と賢明な 利用 (6,968千円+5周年記念 事業:15,450千円)

- ① **中海・穴道湖ラムサール条約登録5周年
記念事業 (記念展示・シンポジウム)**
- ② 穴道湖・中海一斉清掃
- ③ みんなで守り育む穴道湖・中海湖沼環境
改善事業
- ④ **穴道湖・中海の保全と賢明な利用
推進事業 (新規)**

今後の検討課題

- ① NPO等と協働連携しつつ、ラムサール条約の目的である穴道湖・中海の環境保全や賢明な利用に取り組んできたところ
- ② 中海会議※においても、国・県・市町等でワーキンググループを設置し、中海の賢明な利用についてアイデア出しを行う
- ③ 全国各地の様々な取組み事例も参考に



穴道湖・中海の賢明な利用について、多くの皆さんの関わりを得ながら、さらに推進して行くにはどのような取組みが考えられるのか！

※中海会議：平成21年12月の大橋川改修事業に関する「島根・鳥取両県協定書」締結を契機に本年4月に設置24
国、両県、沿岸市町を構成員として「中海及び沿岸域の水に関する諸問題」について協議検討を行う組織